

2018年3月期 第2四半期(累計) 【連結】決算ハイライト

(単位:百万円)

第2四半期(累計)業績	2017/3期 第2四半期		2018/3期 第2四半期		前年同四半期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	39,314	100.0%	51,085	100.0%	11,771	29.9%
営業利益	2,894	7.4%	2,163	4.2%	△731	△25.3%
営業外収益	430	1.1%	639	1.3%	208	48.5%
営業外費用	714	1.8%	582	1.1%	△132	△18.5%
うち支払利息	190	0.5%	372	0.7%	182	96.2%
うち為替差損	475	1.2%	127	0.2%	△348	△73.3%
経常利益	2,610	6.6%	2,220	4.3%	△390	△14.9%
特別利益	200	0.5%	-	-	△200	-
特別損失	-	-	135	0.3%	135	-
税金等調整前四半期純利益	2,810	7.1%	2,084	4.0%	△725	△25.8%
法人税等	732	1.9%	805	1.6%	73	10.0%
法人税等調整額	84	0.2%	202	0.4%	117	138.3%
非支配株主に帰属する四半期純利益	199	0.5%	354	0.7%	155	78.0%
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,793	4.6%	721	1.4%	△1,071	△59.8%
為替レート(1USD/円)	102.91		112.00		左記為替レートは各期6月末TTMレート	
為替レート(1ユーロ/円)	114.39		127.97			

<第2四半期(累計) 決算概要(前年同四半期比)>

【売上高】 前年同四半期比117.7億円(+29.9%)の増収。

《国内》 前年同四半期比15.8億円の増収。自動車関連産業は堅調な国内生産とターボチャージャー用軸受販売などが伸長し増収。船舶向け軸受販売は外部環境により減少したものの、建設機械向け軸受販売は増収となった。前連結会計年度に買収した2社の売上高も加わり増収となった。

《海外》 前年同四半期比101.8億円の増収。北米の自動車用エンジン軸受及び建設機械向け軸受販売が大きく伸長し、欧州(ロシア含む)・アジアも伸長した。前連結会計年度に買収した2社の海外子会社売上高も加わり大幅増収となった。

【利益】 売上高の増加等に伴う販売費及び一般管理費の増加に加え、予想を超える材料費の上昇等もあり営業利益は、21.6億円と前年同四半期に比べ7.3億円の減益となった。経常利益は22.2億円と同3.9億円の減益となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は子会社での固定資産減損等を計上したことも加わり7.2億円と同10.7億円の減益となった。

<2018年3月期通期業績予想数値の修正について>

 ・2017年5月12日に公表した2018年3月期通期の連結業績予想数値について、当第2四半期累計期間の業績を踏まえ左記の通り修正を行いました。
 ※詳細は、本日公表の「第2四半期業績予想と実績値の差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照願います。
 ・配当に変更はございません。1株当たり年間30円(中間15円、期末予想15円)。

<所在地別(前年同四半期比)>

◇国内

 前年同四半期比の売上高増減率は+7.2%
 《自動車関連》ターボチャージャー用軸受・高付加価値エンジン軸受などの増加や堅調な国内自動車生産などにより増加した。
 《建設機械向け》建設機械向け軸受販売が輸出を含めて増加した。

《船舶向け》大型船舶向け低速ディーゼルエンジン向け軸受販売・中小型船舶向け中高速ディーゼルエンジン向け軸受販売が輸出を含めて減少した。

《一般産業向け》当第2四半期累計期間では、電力・エネルギー関連の発電設備用の特殊軸受などが低調だった。

・営業損益は売上高の増加等に伴う販売費及び一般管理費の増加及び材料費の上昇などを受けて減益となった。

◇海外(12月決算については1~6月の累計)

【アジア】 前年同四半期比の売上高増減率は+90.5%
 自動車用エンジン軸受販売では中国・タイを中心に堅調に推移し、買収した2社の海外子会社売上高が加わったことも寄与し売上高は大きく増加した。営業損益は販売費及び一般管理費の増加や買収した2社ののれんの償却などにより減益となった。

【北米】 前年同四半期比の売上高増減率は+59.4%
 メキシコ工場の生産拡大と建設機械需要の回復を受けて売上高は大きく増加した。営業損益もメキシコ工場増産に伴うコスト増要因が減少し増益となった。

【欧州】 前年同四半期比の売上高増減率は+21.1%
 欧州(ロシアを含む)では、自動車関連を中心に堅調に推移し、特にロシアが回復した。また、為替影響も加わり売上高は増加した。営業損益では、ドイツの欧州テクニカルセンターの設置など販売費及び一般管理費の増加があったが、売上増加と為替影響も加わり増益となった。

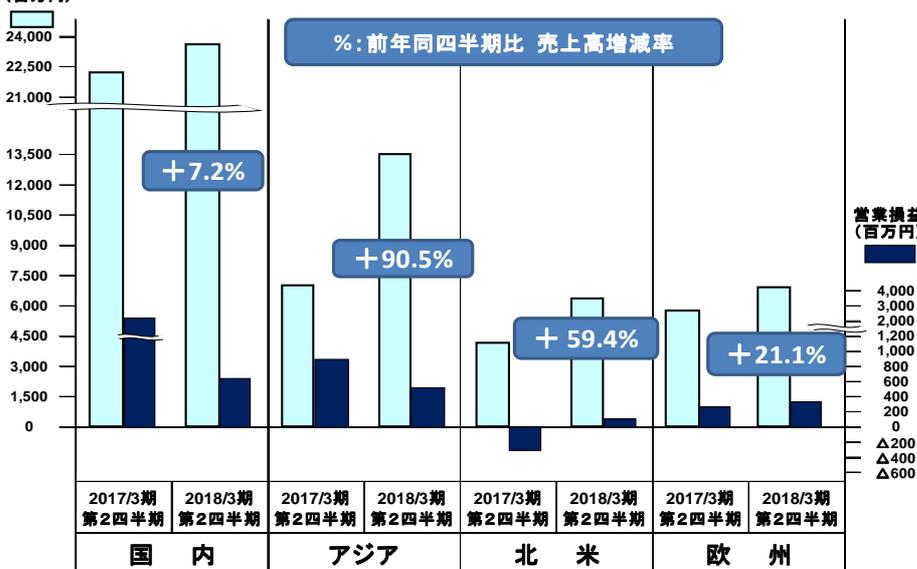
(注) 業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

通期業績推移	実績			前回予想 2018/3期 通期	今回修正 2018/3期 通期	前回予想比	
	2015/3期 通期	2016/3期 通期	2017/3期 通期			増減額	増減率
売上高	85,015	81,400	85,073	96,000	101,000	5,000	5.2%
営業利益 (営業利益率)	7,633 (9.0%)	7,114 (8.7%)	5,103 (6.0%)	7,000 (7.3%)	5,600 (5.5%)	△1,400	△20.0%
経常利益 (経常利益率)	8,129 (9.6%)	6,796 (8.3%)	5,427 (6.4%)	7,100 (7.4%)	5,800 (5.7%)	△1,300	△18.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (純利益率)	4,459 (5.2%)	3,919 (4.8%)	2,635 (3.1%)	4,200 (4.4%)	2,700 (2.7%)	△1,500	△35.7%
為替レート(1USD/円)	120.55	120.61	116.49	105.00	108.00	3.00	-
為替レート(1ユーロ/円)	146.54	131.77	122.70	115.00	128.00	13.00	-

セグメント情報 (事業別)	外部顧客への売上高					
	2017/3期 第2四半期		2018/3期 第2四半期		前年同四半期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
自動車用エンジン軸受	27,020	68.8%	31,086	60.8%	4,066	15.1%
自動車用エンジン以外軸受	6,342	16.1%	7,025	13.8%	682	10.8%
非自動車用軸受	4,928	12.5%	4,434	8.7%	△494	△10.0%
自動車用軸受以外部品	-	-	7,459	14.6%	7,459	-
その他(※1)	1,022	2.6%	1,079	2.1%	57	5.6%
合計	39,314	100.0%	51,085	100.0%	11,771	29.9%

(※1) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等、金属系無潤滑軸受事業、ポンプ関連製品事業等を含んでおります。

売上高(百万円) 所在地別 売上高・営業損益(セグメント間消去前) 推移



主要財務指標	2015/3末	2016/3末	2017/3末	2017/9末	2017/3末比
売上高営業利益率	9.0%	8.7%	6.0%	4.2%	△1.8P
自己資本当期純利益率(ROE)*	10.8%	9.0%	5.9%	3.2%	△2.7P
自己資本比率	37.4%	35.8%	29.1%	29.5%	+0.4P
純有利子負債(有利子負債-現預金)	17,964	23,237	49,108	52,390	3,281

*ROEは、親会社株主に帰属する四半期純利益を年換算し算出しております。

設備投資・減価償却	2014/3期 通期	2015/3期 通期	2016/3期 通期	2017/3期 通期	2017/3期 第2四半期	2018/3期 第2四半期	前年同四半期比 増減額
設備投資	10,838	10,597	14,802	12,329	5,031	4,728	△303
減価償却費	5,027	5,744	6,259	6,751	3,075	4,191	1,115